



## 2025年7月期第2四半期 決算説明資料

---

ブレインズテクノロジー株式会社

2025年3月14日

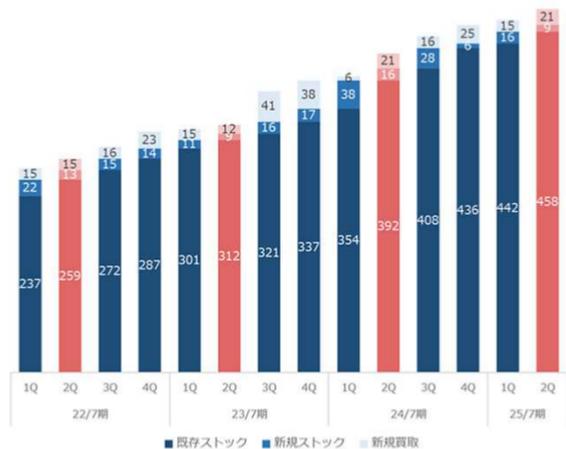
## 決算概況

- 売上高：517百万円（前年同期比 +11.7%）
- 営業利益：△7百万円（営業利益率 △1.5%）
- 当期純利益：△6百万円

## 事業概況

- 新規ライセンスは30本、ストックライセンスは合計で467本（前年同期比+14.5%）
- 「Impulse」外観検査精度改善機能リリース
- AIエージェントを活用した研究開発プロジェクトを開始

## 1 ソフトウェアライセンス数の堅調な増加



- 2Qの新規ライセンスは合計30本（買取21本、ストック9本）
- ストックライセンスは前年同期比+14.5%

## 2 「Impulse」外観検査精度改善機能リリース

AIが判定に混同する学習データの可視化機能を実装



## 3 AIエージェントを活用した研究開発を開始

柔軟な意思決定が必要な非定常業務の自動化を目指す



- 01 2025年7月期 第2四半期 決算概要
- 02 ビジネスハイライト
- 03 (参考資料) 会社概要
- 04 (参考資料) 2025年7月期 業績予想

# 2025年7月期 第2四半期 決算概要

---

- 複数の大型案件が進み、2Q累計の売上高は前年同期比+11.7%と堅調に増加
- 自社製品及び組織体制強化に伴い売上原価・販管費が増加し、営業赤字は継続。一方で、2Q単体は営業黒字\*1。3Qは累計でも黒字化する予定
- 売上高に季節性があり、通期予想に対する変更は無し

単位：百万円	2024年7月期 (2Q)	2025年7月期 (2Q)	前年同期比 (増減率)	2025年7月期 (通期予想)	進捗率
売上高	463	517	+11.7%	1,244	41.6%
売上総利益	258	266	3.4%	—	—
営業損益	21	△7	—	104	—
営業損益率	4.6%	△1.5%	△6.1pt	8.4%	—
経常損益	21	△7	—	103	—
当期純損益	13	△6	—	70	—

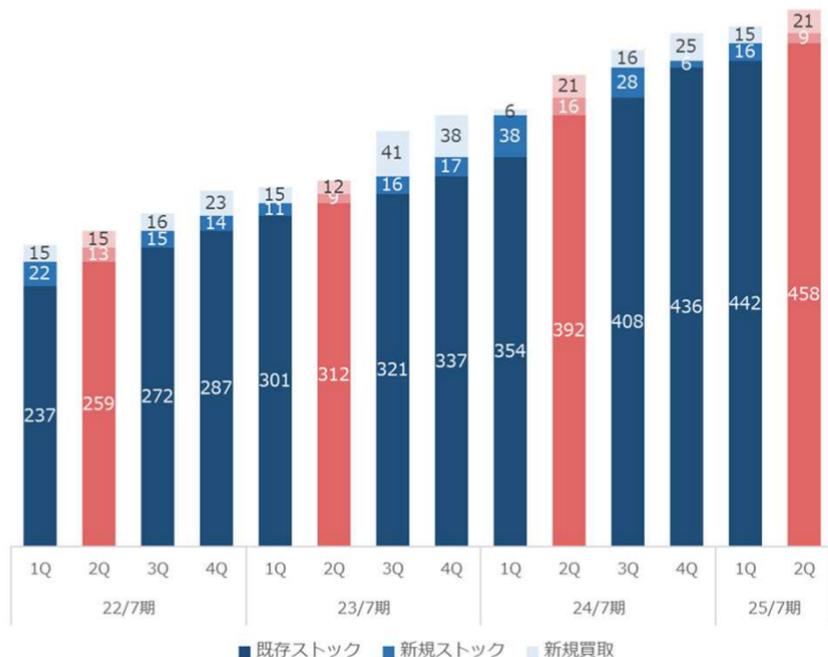
\*1 P.12『売上総利益・営業利益』参照

- 2Q単体の売上高は前年同期比+15.0%の314百万円と順調、通期予想に対する売上比率は25.3%で例年と同程度の水準で推移
- 取引先として大手企業が多く、取引先の決算期の影響から3Qの売上高が高くなる傾向（季節性）は今後も継続する見込み



- ストック売上は着実に積み上がり、前年同期比+17.6%と順調に増加
- 大型の開発案件が導入売上の増加に寄与。買取売上も伸長し、ソフトウェア売上比率は63.1%
- ストック売上、ソフトウェア売上比率ともに一定水準を維持しており、引き続き従業員数に依存しない事業成長モデルを推進

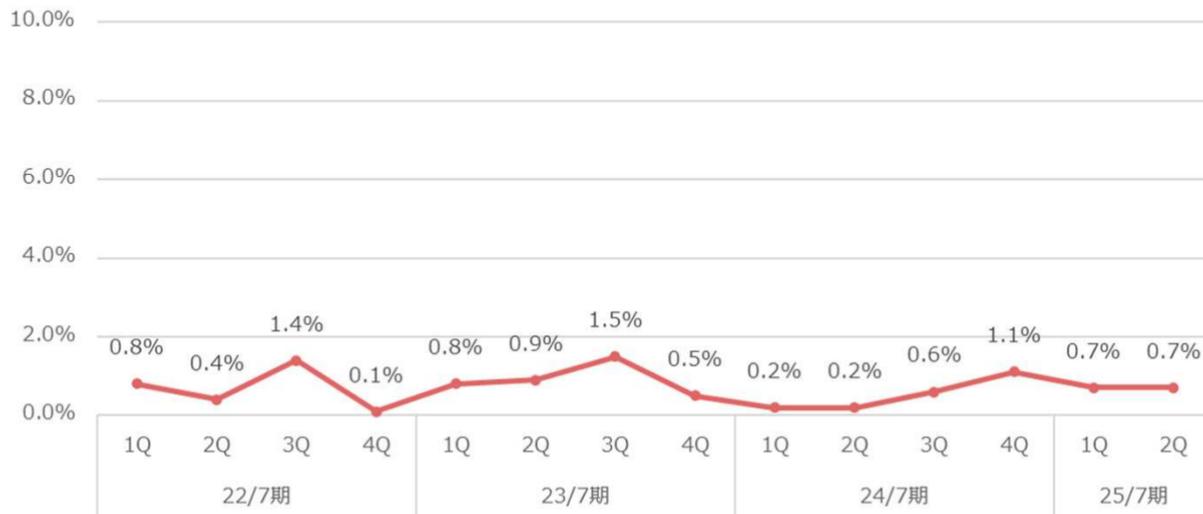




- 2Qの新規ライセンスは合計30本
  - 新規買取21本
  - 新規ストック9本\*1
- ストックライセンス数は合計467本となり、前年同期比+14.5%と堅調に推移

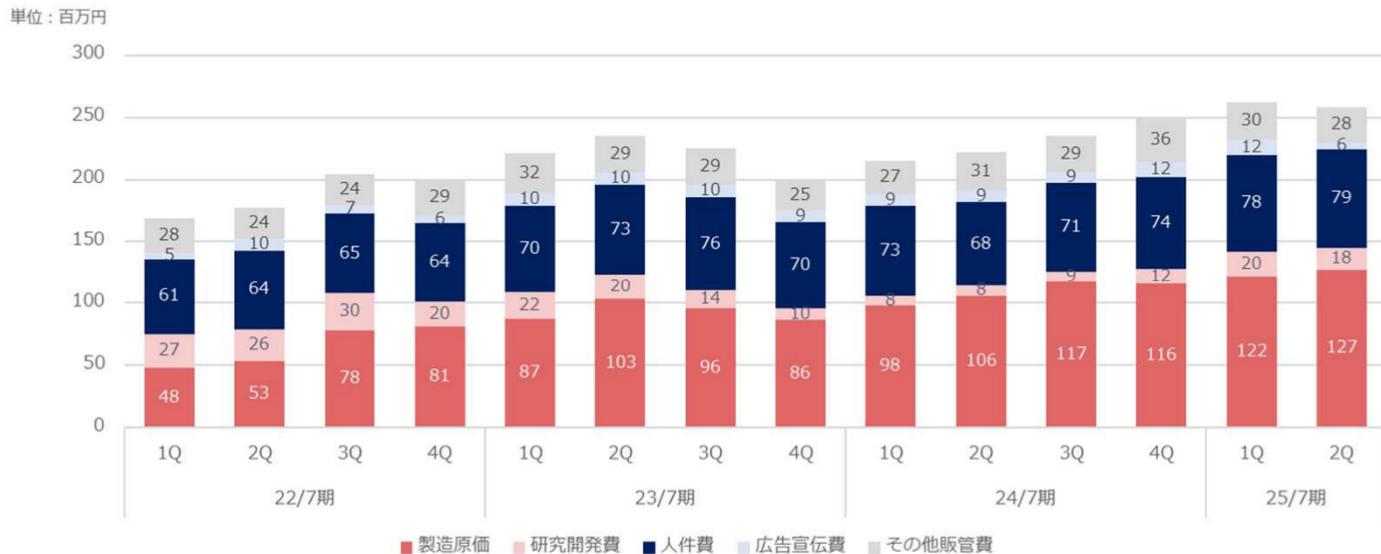
\*1 ストックライセンスはアップグレードまたは買取への切り替えがあるため、新規ストックは純増数で表示（増加:18本 - 解約:9本）

- 常時利用する製品の特性から解約率は低く、2Qの月間解約率\*1の平均は0.7%
- 企業取引の傾向から保守の解約タイミングが3月末（当社3Q）に偏るものの、1年を通して低水準を維持



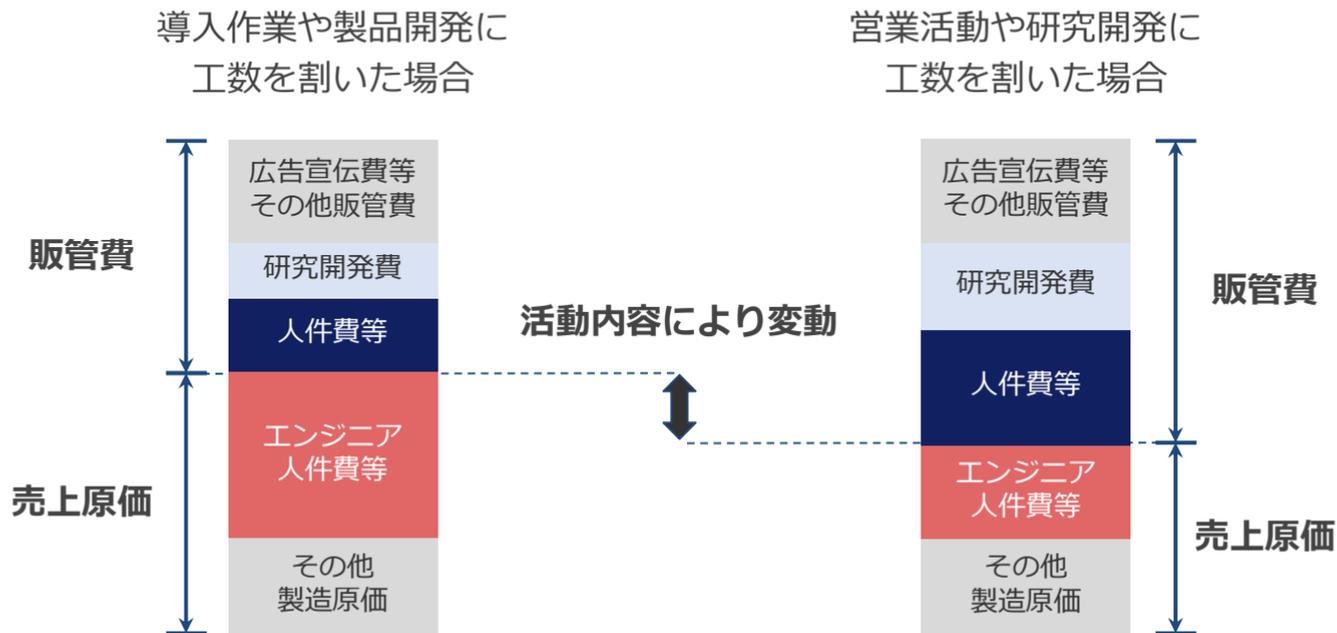
\*1 月間解約率は、当月のストックライセンス解約数÷前月のストックライセンス合計数×100で算出

- 組織体制の強化継続により、人的コスト（原価・販管費）が緩やかに増加
- 製品開発への注力及び案件のクロージングに伴う導入作業等の工数の増加により、研究開発費並びに減価償却費を含む製造原価が増加\*1するも、適切なリソース配分であると認識

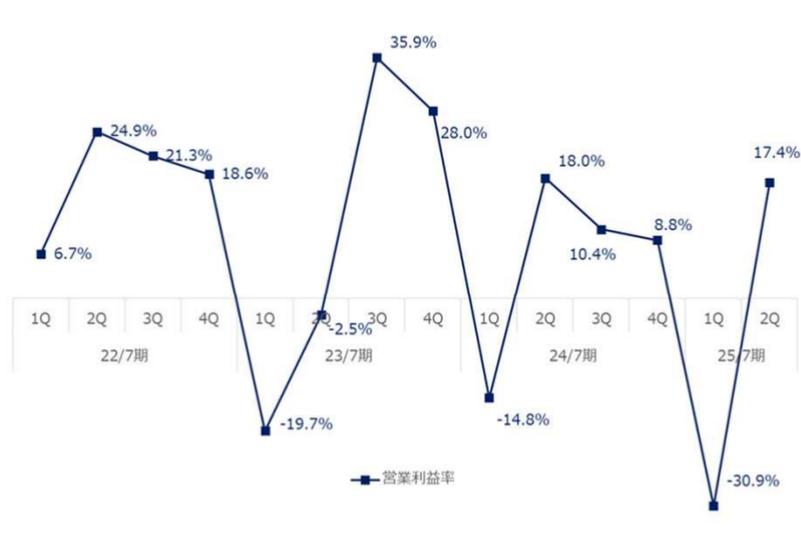
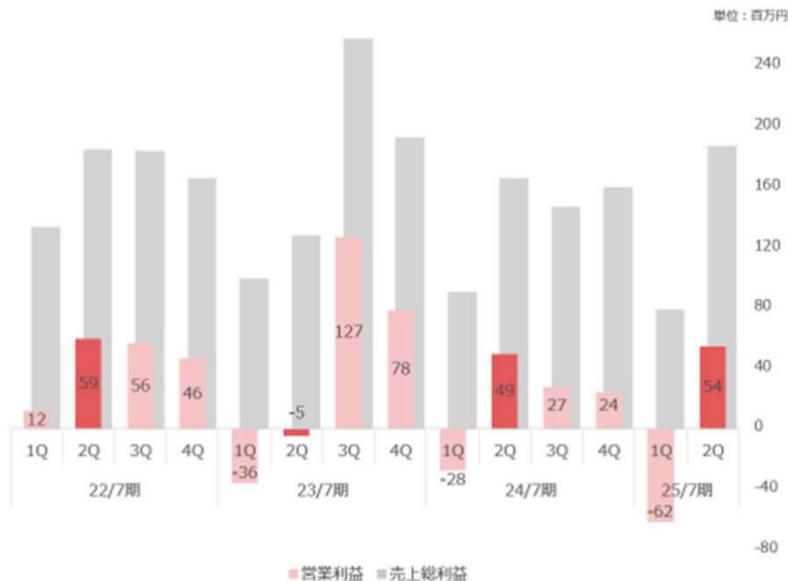


\*1 次頁『（参考）売上原価・販管費の考え方』参照

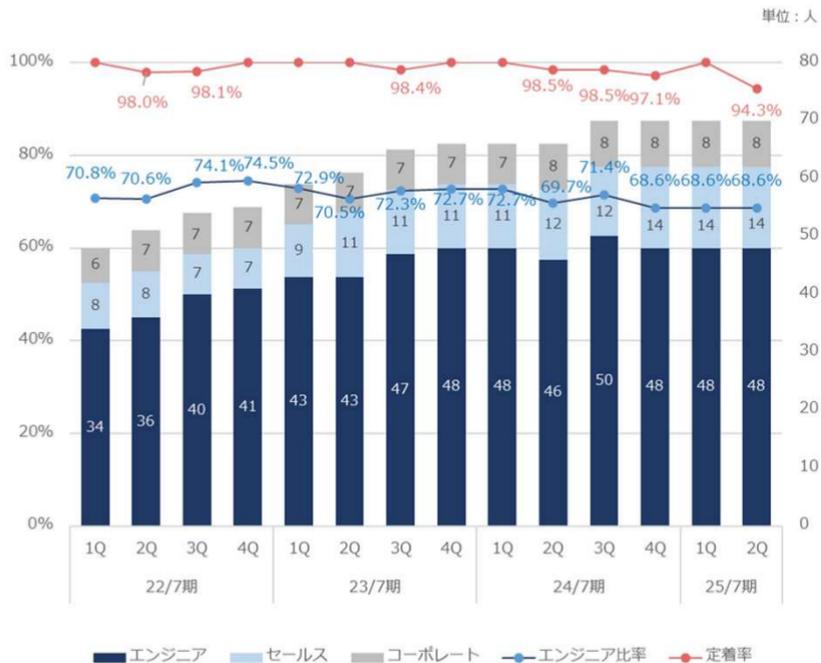
- エンジニアの活動内容によって売上原価・販管費への配賦額が変動するため、売上総利益ではなく営業利益を重視



- 売上連動の変動費が少なく\*1、売上総利益に比べて営業利益の変動幅が大きい状況は継続
- 人件費、減価償却費等の固定費が増加するも、売上高の増加により2Q単体の営業利益率は17.4%、計画に変更なし



\*1 ソフトウェアライセンスビジネスの性質上、売上がコストと連動しておらず、売上から固定費となる人的コストを超過した部分がそのまま利益になる構造



- エンジニア比率は68.6%
- 一部従業員の離職が生じた一方、秋入社の新卒を中心に採用が進んだため、従業員数は横ばいで推移
- 従業員定着率は継続して高い状況を維持しており、人材（人財）の成長と事業成長の連動を志向

\* 定着率は1-離職率で算出、離職率は離職者数÷前四半期末在籍従業員数で四半期毎に算出

# ビジネスハイライト

---

## AIが判定に混同する学習データの可視化機能を実装 学習データの選別効率化と判定精度向上による過検出率の改善を実現



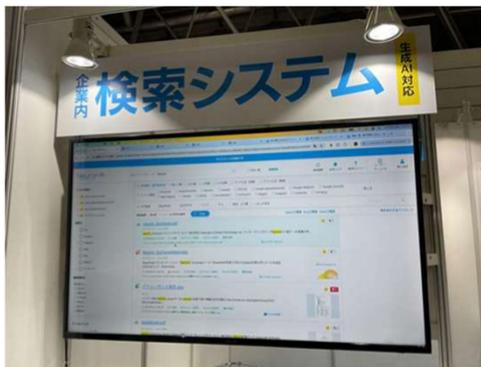
柔軟な意思決定が必要とされる非定型業務の自動化への取り組みに着手  
当社の強みであるデータ収集・分析技術と文書検索技術を基礎に製造業特化型AIエージェント技術確立を目指す





## 展示会出展

- NTTデータ主催 Work Shift for Resilience 登壇 (2月)
- DX 総合EXPO 2025 春 幕張 (2月)



## 展示会出展

- 第9回 スマート工場EXPO (1月)
- DXソリューションフェア In KAMISU (2月)

## メディア掲載

- 日刊工業新聞に掲載 (2025年1月21日付)



## 佐藤総合法律事務所



\*2025年2月末時点 累計94社公開

### 製造業

株式会社IHIエアロスペース	<b>AISIN</b>	<b>AsahiKASEI</b>	<b>ULVAC</b>
Ahresty	EBARA	<b>CASIO</b>	KOC
<b>KIOXIA</b>	キッセイ薬品	まじめに、まっすぐ <b>KONOIKE</b>	KONICA MINOLTA
再春館製薬所	サカタのタネ PASSION in Seed	<b>SARAYA</b>	<b>SUNTORY</b>
JFE ケミカル 株式会社	<b>CITIZEN</b> シチズン千原精工株式会社	澁谷工業株式会社	DAIKIN
大豊工業株式会社	Daiwa House	TAIYO YUSHI	株式会社TITULI
CHUHATSU CHUO SPRING CO.,LTD.	T&K TOKAI	株式会社テクノプロジェクトサービス株式会社	DENSO Crafting the Core
CAN 東洋製罐株式会社	巴工業株式会社	<b>Nabtesco</b>	日光ケミカルズ株式会社
NISSHINBO	Nitto Innovation for Customers	日本車両	Neg BLISS FOR FUTURE 日本電気硝子
NIPPON STEEL	NOHMI 能美防災	<b>Panasonic</b>	FE 富士電機
富士電子工業株式会社 Fuji Electronics Industry Co.,Ltd.	<b>HONDA</b> The Power of Dreams	MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better	
サマートック株式会社 SAMARTO PESTIC CORPORATION	YANMAR	<b>RESONAC</b>	

### 情報通信業

<b>SCSK</b>	<b>NTT Data</b> Trusted Global Innovator	<b>NTT DATA</b> 株式会社 NTTデータビジネスシステムズ	<b>OPTAGE</b> WHAT'S MARKET	<b>SIS</b> 科学通信システムズ	Kenes
QES	CPC 株式会社シーイーシー	TOIINX	TRANSNET	<b>NIS</b> 日経情報システム株式会社	
HT Net	MSYS 株式会社エヌエスエス	(株)リクルートコミュニケーションズ	<b>UNIQDEX</b>		

### 建設業

JFE	清水建設 子どもたちに誇れるしごと。	HIRAIT ONE 西武建設	TAKENAKA
CHIYODA CORPORATION	NAKABOHEC	西松建設 未来を創る現場力	Panasonic 建設現場の信頼のパートナー

### その他

石川県 Ishikawa Prefecture	IWATA GODO Established 1982	大阪ガス Daigas	K LINE 北日本建材リース株式会社 Kita Nihon Construction Material Leasing Co.,Ltd.
KOBE	SANKEN HIROSHIMA JAPAN	JAPAN RENEWABLE ENERGY	新国立劇場 NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO
水ing	東急不動産SCマネジメント	JPX	パースナルキャリア
HIRAKAWA	兵庫県 Hyogo Prefecture	明治大学 MEIJI UNIVERSITY	LOGISTEED

## 佐藤総合法律事務所

アクセス権を考慮した機密性の高い文書の  
スピーディな検索を実現

検索  
対象

通知書や契約書などの法律文書

選定  
理由

信頼しているベンダーからの推薦に加え機能面に不安がなく比較的安価に利用できること

導入  
効果

作成頻度が多い書類を利活用し、弁護士業務の生産性向上に貢献



## ITトレンド 年間ランキング 8年連続1位獲得 Good Productバッジ 6回連続受賞

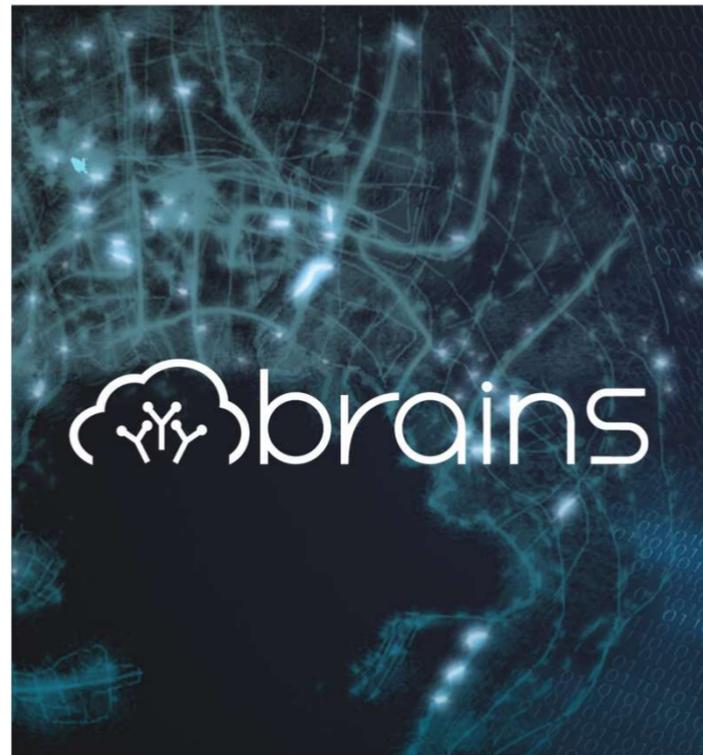
株式会社Innovation & Co.が運営する法人向け国内最大級IT製品比較・検討サイト「ITトレンド」が発表する「ITトレンド年間ランキング」のエンタープライズサーチ部門において、Neuron ESが2024年もランキング1位を獲得（2017年より8年連続1位）

2024年9月には同サイトがユーザー評価をもとに発表した第6回「ITトレンド Good Productバッジ」をエンタープライズサービス部門において受賞（第1回より6回連続受賞）

## (参考資料) 会社概要

---

社名	ブレインズテクノロジー株式会社 Brains Technology, Inc.
所在地	東京都港区高輪3-23-17 品川センタービルディング 4F
設立	2008年8月8日
資本金	601,526千円
従業員数	70名（2025年1月末）
事業内容	エンタープライズAIソフトウェア事業 - データ検索製品の開発・提供 - データ分析製品の開発・提供



# 企業活動の継続性と生産性の劇的な向上に貢献する

先端技術を活用した実用的なサービスを創り続けています。



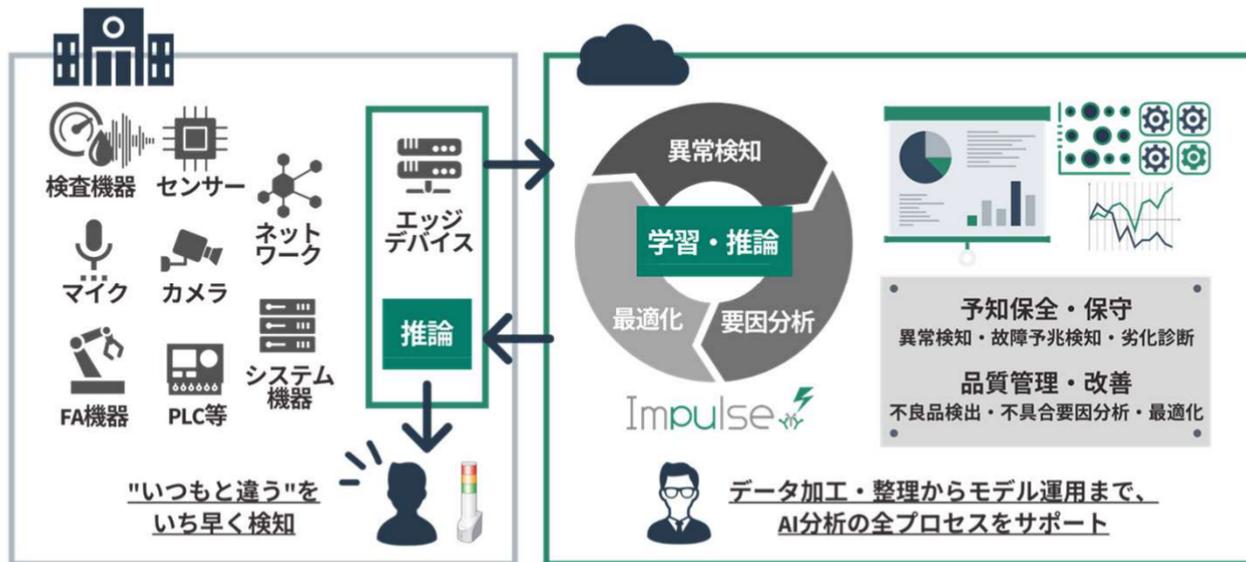
未来工場

## 明るい未来を創造する技術集団として

先端技術の恩恵を、いち早く・より多くのお客様に提供するために、  
製品・サービスとして出荷することにこだわります。

製造・保全現場向け  
DX製品

## 「いつもと違う」を検知する オールインワンのAIプラットフォーム



センサーや動画像など企業内に散在する膨大なデータを活用できるようにすべく、収集・加工からモデル構築・運用までのAI分析の一連のプロセスをサポートするプラットフォームを提供

## 1.異常検知



## 2.要因分析



## 3.外観検査



## 4.作業分析



## AISIN

株式会社アイシン



データ種類

📡 センサー

アプリケーション

1.異常検知

2.要因分析

対象業務

設備監視

製造品質管理

## DENSO

株式会社デンソー



📹 動画

3.外観検査

品質検査

## SUNTORY

サントリープロダクツ株式会社



📡 センサー

1.異常検知

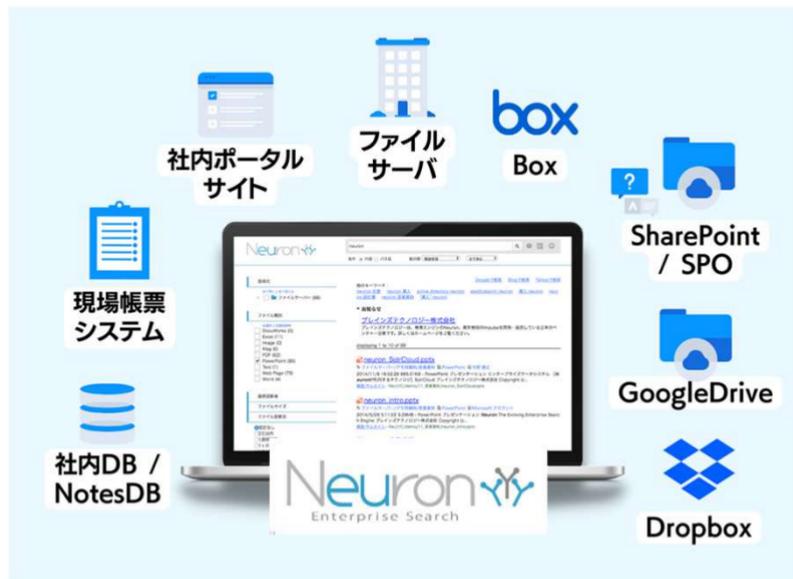
2.要因分析

予知保全

製造品質管理

オフィスワーカー向け  
DX製品

「探す」をもっと身近に、  
簡単にする企業内検索エンジン



企業内のファイルサーバやポータル、オンラインストレージなどに保存されている文書やデータを横断的に一括検索。自然言語処理やリコメンド機能により精度の高い検索を実現

子どもたちに誇れるしごとを。



清水建設株式会社



検索時間の短縮

検索対象



イントラサイト



ファイルサーバー

用途

全社利用

CAD・図面検索



大和ハウス工業株式会社



検索を軸とした  
新たな価値創出



SharepointOnline



社内システム

APIの活用

海外製品の検索



三菱電機株式会社  
名古屋製作所・産業メカトロニクス製作所



業務効率化



イントラサイト



ファイルサーバー

大規模検索

過去トラ検索

## 企業内検索エンジンで培った技術を応用した生成AIチャット



- 1 事実とは異なる回答や文脈と無関係な回答（ハルシネーション）への対策
- 2 Microsoft社\*3「Azure Open AI」、Amazon Web Services社「AmazonBedrock」、オープンソースなど自社に最適なLLMを選択可能

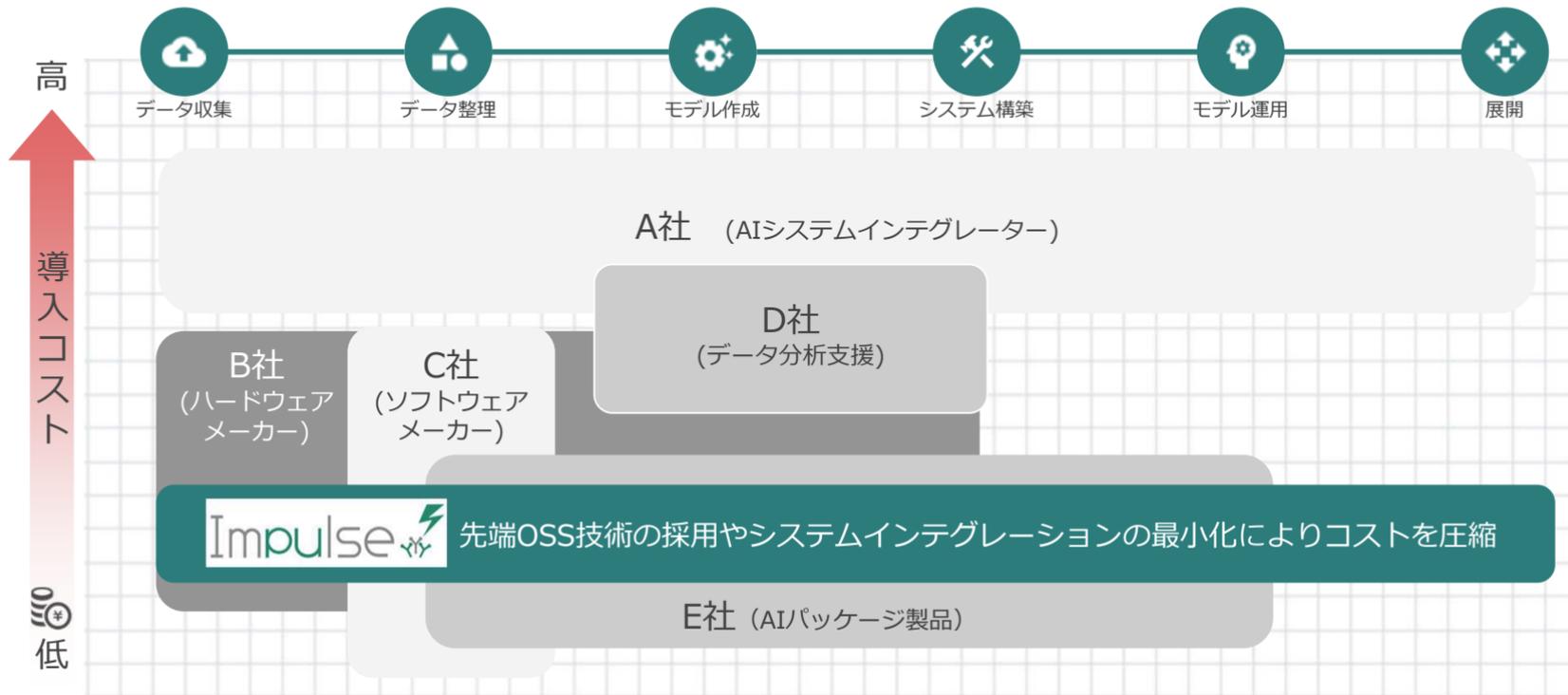
\*1 RAG : Retrieval-Augmented Generation. テキスト生成に外部情報の検索を組み合わせる技術

\*2 LLM : Large Language Model. 大規模言語モデル

\*3 弊社は日本Microsoft株式会社「生成AI事業化支援プログラム 第1期」パートナーに登録

業務中の疑問や課題に対して、社内データを情報基盤としたセキュアで精度の高い回答を提供、将来的にマルチモーダルなデータを活用した取り組みも視野に当社製品との連携をはかっていく

実用的であることにこだわり、お客様自身によるAI活用を志向  
周辺システムとの接続や、モデル運用と展開のしやすさが強み



## 専門性が高く 多様性のあるエンジニア

エンジニア比率

**68.6%**

[24/7期]

**60.4%**

修士・博士卒

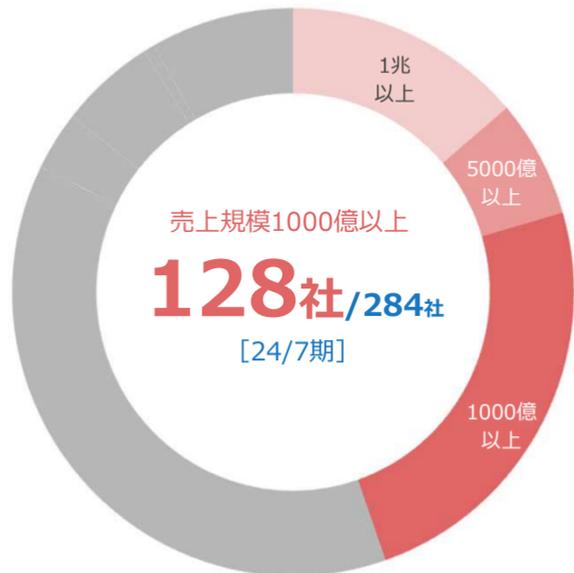
**18.8%**

外国籍

## 90%以上の高い定着率

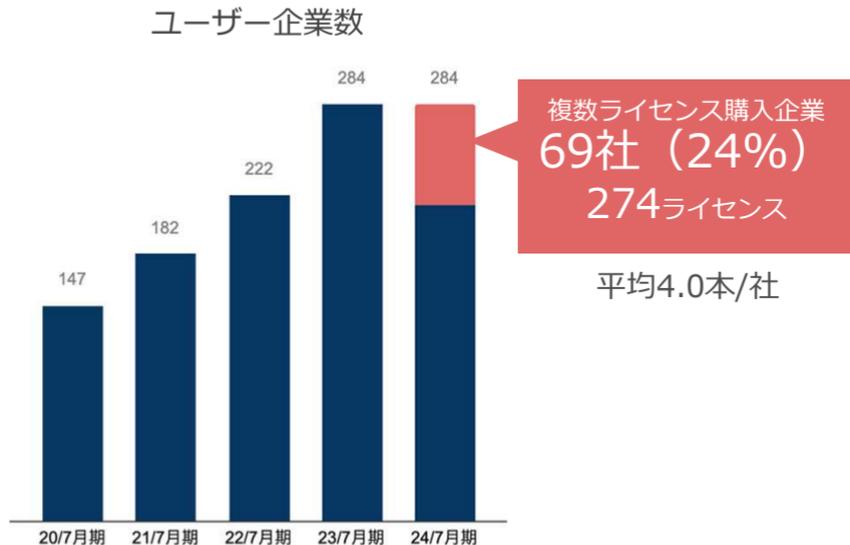


## 特定企業に依存しない 顧客基盤



5000億以上の企業数は56社(20%)

## 大手企業を中心に クロスセル・アップセル



評価利用で効果を確認したのち、画面などの軽微なカスタマイズとシステム構築を経て導入  
利用範囲の拡大や工場・拠点展開によりライセンスが増加



\*LCはライセンス (Licence) の略

\*継続的な売上となるサブスクリプションライセンスと保守ライセンスは、「ストック売上」と区分

\*ライセンス価格は、量 (ユーザ数、データ量、エッジ台数等) ×単価 (製品種類、オプション等) で構成

製造業、情報通信業、建設業を中心に  
幅広い業種のユーザーが製品を採用

## ゼネコン

タワークレーンの故障予兆検知  
異常が起きる前の予兆を検知することで、建設現場での生産性・安全性の向上に貢献



建設業

## ネットワークキャリア

サイレント障害の監視  
日々発生するトラフィックの急減をタイムリーに検知することで、ネットワーク機器の故障を早期に検知



情報通信業



## 自動車部品製造業

ものづくり現場を広く品質保証  
自動化された工程から人の作業に至るまで、広い範囲での品質保証を実現。外観や完成品の検査工程で、量産システムとして実稼働

製造業



## 機械部品製造業

射出成形のプロセス制御  
射出成形機のセンサ情報を用いて不良品の発生要因解析、良品条件の算出を実現



## 化学製品製造業

製造工程における設備・品質監視  
製造設備の運転状況と製品の検査値から、設備および製品の異常を検知

Neuron ESのユースケースは業種業態問わず、  
検索時間の削減・業務効率化が中心

24/7期  
業種別売上構成比

# (参考資料) 2025年7月期 業績予想

---

- 2024年7月期に強化した製品の販売に注力、売上計画は1,244百万円（前期比+23.9%）
- 人材、ソフトウェアへの投資を継続することで人件費や減価償却費が増加。営業利益は104百万円（前期比+43.1%）、当期純利益は70百万円（前期比+45.8%）を見込む

単位：百万円	2023年7月期 (実績)	2024年7月期 (実績)	2025年7月期 (業績予想)	増減率
売上高	1,053	1,004	1,244	+23.9%
営業利益	163	73	104	+43.1%
営業利益率	15.5%	7.3%	8.4%	+1.1pt
経常利益	162	73	103	+42.1%
当期純利益	122	48	70	+45.8%
EBITDA	293	263	328	24.8%
EBITDAマージン	27.8%	26.2%	26.4%	+0.2pt

- 2024年7月期までの取り組みで、製品はさらに強化され、営業の素地が整った
- 課題である売上成長と事業加速にむけ、販売力と組織力の強化に注力
- 新たに生成AI技術をドライバーに、使ってもらえる製品を届ける技術への取り組みは継続

## 販売力強化

販路拡大と既存顧客への注力で売上を伸ばす

営業採用

パートナー強化

自動車業界への更なる注力と横展開

ターゲット別  
コンテンツ

既存顧客の  
売上拡大

## 組織力強化

事業体制や仕組みの強化で事業を加速する

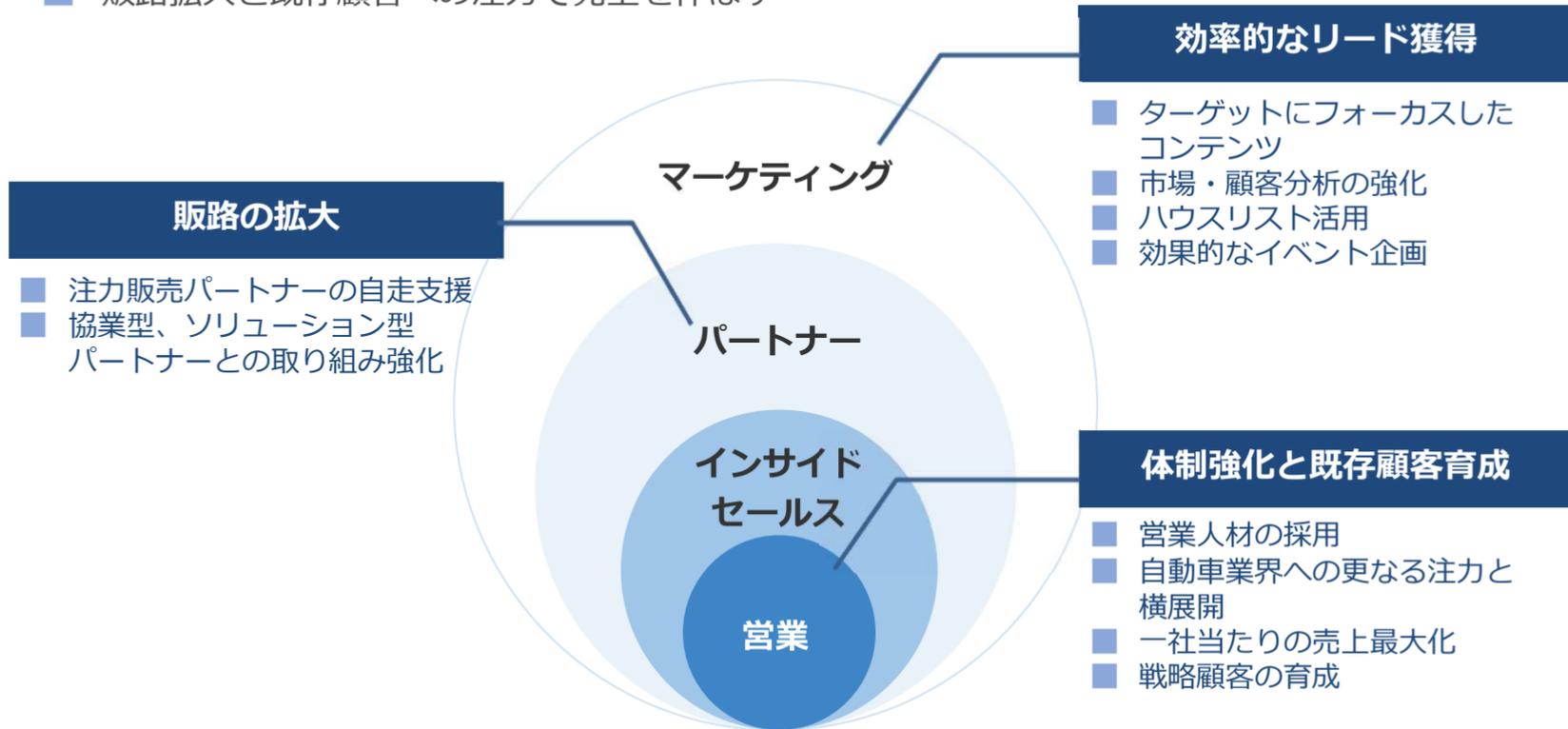
開発部門と営業部門を統合

ビジネスレビュー

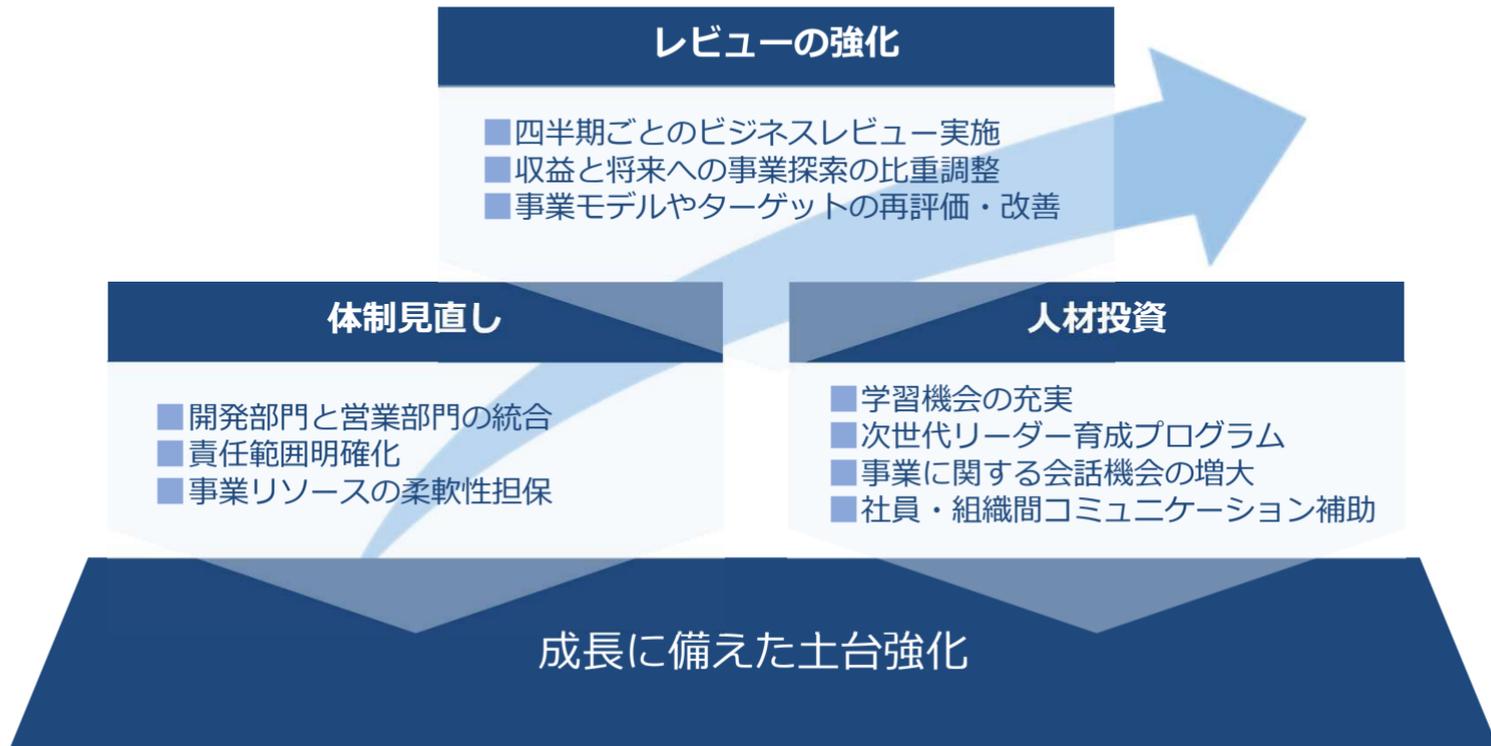
コミュニケーション

次世代リーダーの育成・教育

## ■ 販路拡大と既存顧客への注力で売上を伸ばす

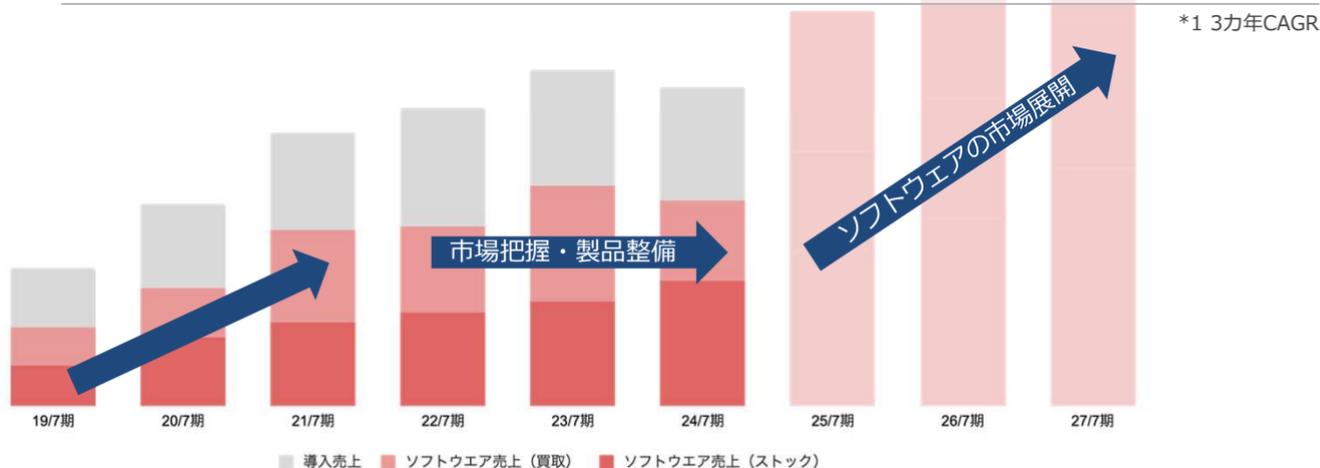


## ■ 事業体制や仕組みの強化で事業を加速する



■ 強化されたプロダクトを武器に販売力強化で成長路線にのせ、組織力で事業を加速

テーマ	市場把握と製品整備 (FY22-24)	ソフトウェアの市場展開 (FY25-27)
顧客とサービス	産業向けユースケース (製品) の整備	業務にフォーカスした製品、ソリューション
販売モデル	コンテンツ・インバウンド	+ パートナー・アウトバウンド
ストック売上成長率*1	14.5%	20%+
ライセンス販売数	510	900+



- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

